

二九一一番

ひとめおほ
人目多み 目こそ忍ぶれ すくなくも 心の中
に 我が思はなくに

二九一二番

ひとみ
人の見て 言咎めせぬ 夢に我 今夜至らむ や
どさすなゆめ

二九一三番

いつ
何時までに 生かむ命そ おほかたは 恋ひつつ
あらずは 死ぬるまされり

二九一四番

うるは
愛しと 思ふ我妹を 夢に見て 起きて探るに
なきがさぶしさ